

■(バジル・ホール・)チェンバレン イギリスの日本研究家。日本文学を英訳。東大文学部教授招聘で上田萬年の師となる。

ちえんばれん

国定忠治疎・1850＝

ポーツマス近郊で、イギリス海軍軍人ウィリアム・チャールズ・チェンバレンの長男に生まれる。

母イライザが「朝鮮・琉球航海記」著者のイギリス軍人バジル・ホールの娘だったことから、もともと日本が遠い国ではなく、

ペリー来航・1853＝ 3歳：

松下村塾・・1856＝ 6歳：母が死去。母同様、ドイツ文化に詳しい母方の祖母とともに、フランスのベルサイユに移住。

家庭教師もドイツ人女性だったことから、フランス語に加え、ドイツ語も使いこなすようになり、

安政の大獄・1859＝ 9歳：

桜田門外変・1860＝10歳：

大政奉還・・1867＝17歳：1年スペインで過す間に、スペイン語も身につけてしまう。

明治維新・・1868＝18歳：フランスで大学入学資格のバカロレアを取得して帰国、オックスフォード大学への進学を望むも、

戊辰戦争終・1869＝19歳：父の命で、ペアリングス銀行に就職するが、仕事に慣れず、ノイローゼとなって辞め、療養のため、船で地中海周辺を旅するうちにラテン語、ギリシャ語なども加え、全部で11か国語をマスターするという語学の天才で、

学問のすすめ1872＝22歳：一旦帰国後、オーストラリアに赴き、中国を経て、

明治6年政変 1873＝23歳：来日すると、早速、日本語に魅せられて学び始める。元浜松藩士族荒木蕃の私雇外国人を経て、

佐賀の乱・・1874＝24歳：築地の海軍兵学寮に英語教師として雇用され、

初の民間工場1875＝25歳：英語だけではなく、数学、地理、さらに万国史も教える。

三つの反乱・1876＝26歳：早くも、{コーンヒル・マガジン}に江戸時代の教科書たる「実語教」「童子教」の英訳を発表、

西南戦争・・1877＝27歳：同誌に「日本詩歌論」を、{ジャパン・ウィークリー・メイル}に「和歌における枕詞とその役割」を発表、

大久保暗殺・1878＝28歳：父が死去。{ロイヤル・アジア協会}誌に「女大学」の英訳を発表。

・・・・・1880＝30歳：一時帰国。日本アジア協会で「会津方言についての覚え書き」を発表、

明治14年政変1881＝31歳：「古事記」の英訳を開始、

新体詩抄・・1882＝32歳：海軍兵学寮の教師を辞める。

岩倉具視没・1883＝33歳：完訳(KO-JI-KI or “Records of Ancient Matters”)して出版、金字塔として、今なお高い評価、

内閣発足・・1885＝35歳：アーネスト・サトウから大量の和書を寄贈される。業績を評価されて、東京大学文学部和漢文学科と新設された博言学科の教師に任命され、日本アジア協会で「日本文学で使用される文体の違い」「日本語動詞の語根」について発表、この年入学した上田萬年が近代日本語を作って行く基礎を教え、愛弟子となって行く。

帝国大学始・1886＝36歳：(改称された)帝国大学文科大学の博言学および日本語学の教授。「簡約日本語文法」を出版。{東洋学芸雑誌}に「神代文字有無論」を発表。北海道の宣教師ジョン・パチェラーのもとで、アイヌ語研究に従事、[The Language, Mythology, and Geographical Nomenclature of Japan Viewed in the Light of Aino Studies]。{羅馬字雑誌}に「日本歴史は書き直しを要す」「言文一致」を、{東洋学芸雑誌}に「蝦夷語と日本語の関係」を発表。「日本小文典」、文部省編輯局「英語発音指南」を出版。

初の対等条約1888＝38歳：「日本上古史評論(Aino Folk-Tales)」「口語日本語ハンドブック」出版。上田万年を助手として「日本語の最古の語彙について」研究し、日本アジア協会で発表。

帝国憲法発布1889＝39歳：

帝国議会始・1890＝40歳：この年来日したラフカディオ・ハーン(小泉八雲)と親交。帝国大学教授を辞職。「日本事物誌」を出版、以後、50年近く、6版を重ねる。この年、日本の国歌として採用された「君が代」も英訳している。

足尾鉋毒始・1891＝41歳：W.B. メーソンと共同で旅行ガイドブックの「マレー」の日本案内版である“A Handbook for Travellers in Japan”を執筆し、これも多くの版を重ねる。帝国大学名誉教授となり、日本アジア協会の会長に就任。

大本教・・・1892＝42歳：一時、イギリスに帰国。

郡司千島探検1893＝43歳：「英文典」を出版、

日清戦争始・1894＝44歳：

日清戦争終・1895＝45歳：[Essay in aid of a grammar and dictionary of the Luchuan language]。地理学協会で「琉球諸島の人々」、日本アジア協会で「日本語と琉球語の相違点」などを発表。

白馬会・・・1896＝46歳：再び、イギリスに一時帰国。ハーンが帝国大学英文科講師になれるよう斡旋するが、大学になじめないハーンとは、次第に疎遠となる。

Bushidou・・1899＝49歳：[A Practical Introduction to the Study of Japanese Writing(文字のしるべ)]、{日本英字新誌}に「羅馬字新綴方反対意見」を発表。

ビア/国産化・1900＝50歳：{言語学雑誌}に「ローマ字書きに対する文部省への建議書」を発表、

教科書疑獄・1902＝52歳：箱根のYMCAで、「日本語研究について」講演、

日比谷公園・1903＝53歳：この年、帝国大学を解雇されたハーンが、

日露戦争始・1904＝54歳：死去。以降、箱根の富士屋ホテルに逗留し、近くに文庫を建てて研究を続けるが、

日露戦争終・1905＝55歳：この頃知り合った青年杉浦藤四郎を秘書とし、我が子のように可愛がって、自ら秘密にしていたのどや眼の病気の悩みを話し、蔵書を預け、書簡も合わせて、のちに愛知教育大に保管される。眼病にかかったため、

韓国併合・・1910＝60歳：「Japanese Poetry」。蔵書を上田万年に寄託して、

大逆事件判決1911＝61歳：離日。以後、スイスのジュネーブに住居を構え、

明治天皇没・1912＝62歳：「The Invention of a New Religion」,

大正政変・・1913＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝71歳：

水平社結成・1922＝72歳：

関東大震災・1923＝73歳：関東大震災で、東京帝国大学に置かれていた蔵書は、すべて灰燼に帰した。

金融恐慌・・1927＝77歳：[Huit Siecles de poesie francaise],

満州事変・・1931＝81歳：

芥川直木賞始1935＝85歳：没した。

“王堂”と号して、署名には“チャンブレ”と書いた。箱根宮ノ下では、堂ヶ島溪谷遊歩道をチェンバレンの散歩道と別称している。

インターネットWikipedia, 山口謡司「日本語を作った男」,